

賛助会員募集趣意書

日本感染管理ベストプラクティス研究会

代表理事 藤田直久



新年度の始まりを控え、みなさまにおかれましては、三年間以上続くこのコロナ禍により企業活動への影響が現在もなお継続し、大変なご苦勞をされているのではないかとお察し申し上げます。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）も5類感染症への変更が5月8日から実施されることが決まり、その調整が政府においておこなわれているところです。しかしながら、法律における類型が変更されても、感染症そのものが変わるわけではなく、医療や介護の現場においては大きな変化はなく、引き続き確実な感染予防策が必要であることには変わりないと思われま

さて、2023年1月26日をもちまして、一般社団法人「日本感染管理ベストプラクティス研究会」（以後本研究会）が発足しましたこととお知らせいたします。

本研究会は、定款にもありますように「医療施設・介護施設・在宅等における医療関連感染を最小限にし、経済的負担を最小限にするための実践的な改善プログラムの開発研究と教育普及を図ることを目的とし、その成果を医療・介護従事者等に還元し、現場の改善を支援し、ひいては国民の健康と安全に寄与すること」を目的として設立されました。

本研究会は2003年に発足し、「花王プロフェッショナルサービス株式会社」のご支援のもと全国でベストプラクティスのワーキングが開催され「ベスプラ」という名称は全国に広まってきました。これまでベスプラのワーキングに参加した施設はのべ約7000施設、参加者数はのべ17000人、さらに毎年開催するセミナー16回を数え、のべ約15000人が参加されています。これまでにベスプラの活動に携わっていただいた医療従事者は、アドバイザーとしてお名前を登録した方だけで約950人であり、それ以外の世話人や何らかの形で係わって頂いた方の数は1000人を優に超えます。

この20年間培ってきたノウハウと蓄えてきたリソースを継承しながら、2023年1月26日に一般社団法人「日本感染管理ベストプラクティス研究会」を新たに発足させ、多くの企業のご協力ご支援を得ることで、これまで以上に本研究会の「ベスプラ」という手法を通して全国に感染予防対策を普及させ、来るべき新興・再興感染症に備えてゆけるよう、活動してゆきたいと思っております。

一般社団法人である本研究会は、本研究会の主旨にご賛同いただける企業からのご支援のもとに運営することとなります。2002年SARS、2009年の新型インフルエンザ、2011年の東日本大震災、2016年熊本地震、2020年新型コロナウイルス感染症と、感染症と自然災害が数年毎に発生しており、その度毎にそれぞれの現場においてベスプラを使った支援活動がおこなわれ、医療施設のみならず避難所や高齢者施設でも展開され、感染予防と災害復興にむけた社会貢献ができたのではないかと考えております。

ベスプラが芽吹いてから20年が経過し、新たな組織「一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会」として、感染管理の分野での発展を目指しております。是非、この研究会に御賛同頂き、賛助会員としてご一緒に日本の感染対策を進め、国民の健康と安全に寄与できればと思っております。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年3月吉日

記

一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会 賛助会員

・年会費 一口 30,000円（一口以上）

・入会申込書送付先 一般社団法人日本感染管理ベストプラクティス研究会 事務局

E-mail: jimukyoku*bespra-ipc.or.jp（「*」を「@(半角)」に置き換えてください）

以上